

新医学系指针对応「情報公開文書」改訂フォーム

複数施設研究用

※黒字 定型事項 消さないで下さい。

※赤字 注意事項 提出時は削除して下さい。

※青字 例文 適切なものを選択し、必要に応じ、研究に合わせて修正して下さい。

以下、本文-----

「当事者視点での治療のイメージと困った時の対処法について：アンケート調査」に関する研究

1. 研究の対象

精神科の外来通院中で、国際疾病分類第 10 版(ICD-10)における F0-F9 までのいずれかの診断に該当する 20 歳以上の方

2. 研究目的・方法

この研究の目的は、精神科で治療を受けている患者様の処方薬を中心とした治療に対するイメージや医師から受けた説明について調査することです。医師の説明が患者さんの回復した実感や主治医との信頼関係などにどのように影響するかを調べることで、患者さん視点で治療に必要なことは何か、特にお薬に関しては何を中心に説明するのが良いかを検討したいと考えています。研究期間は 2019 年 5 月 15 日から 2021 年 3 月 31 日まで、精神科治療中の外来通院中の患者様に、研究への参加をお願いすることになります。研究全体の参加者は、200 名を見込んでいます。対象となるのは、国際疾病分類第 10 版(ICD-10)における F0-F9 までのいずれかの診断に該当する 20 歳以上の方となります。協力していただく内容は、お薬や病気に関するアンケートの実施を予定しております。また、年齢、性別、既往歴、精神科治療歴、診断名、過去 1 年間の処方内容・処方日数等の情報を診療録で収集します。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：「患者さんから見た治療のイメージと困った時の対処法について：アンケート」、「主治医から見た治療のイメージについて：アンケート」、医師への信頼度 (Trust in Physician Scale)、性別、年齢、既往歴、家族歴、発症年齢、入院回数、精神科初診日、通院頻度、主治医が担当してからの期間、処方内容、処方日数 等

4. 外部への試料・情報の提供

データには、協力者の氏名、生年月日、患者番号、住所は含まず、データ収集時に、本研究登録順に通し番号を割りつけ、連結不能匿名化を行います。得られたデータは、SPSS ファイルに集積し、パスワードが設定されたコンピュータ内に保存します。得たデータは研究責任者が管理します。

5. 研究組織

医療法人社団鶴栄会 鶴が丘ガーデンホスピタル/長津田いこいの森診療所 久保馨彦
医療法人財団厚生協会 大泉病院/あさか台メンタルクリニック/大泉メンタルクリニック 内田裕之

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

精神神経科 久保馨彦（研究責任者）

住所：〒210-0013 神奈川県川崎市川崎区新川通 12-1 川崎市立川崎病院

電話番号：044-233-5521

研究代表者：

医療法人社団鶴永会 鶴が丘ガーデンホスピタル 久保馨彦

-----以上